

# あいがも屋通信

No139 春の到来号



無事に雪が解けて、秋にまき切れなかった田んぼにも堆肥をまき始めました。ぼちぼち春の到来です。ほかにも畦の補修や溝堀など忙しさが加速、意外とやることが多いです

## 映画「百姓の百の声」監督と語ろう

映画「百姓の百の声」が尾道シネマで上映会があり、柴田昌平監督本人とのトークセッションに招待されたので行ってきました。映画の感想を本人から聞かれ「モヤっとしました」と答え、ツッコまれましたが監督と農業の課題やこれからの事など大いに語り合いました。



交流会では作家で詩人のアーサー・ビナードさんも参加され農村のこと、種子の課題の事など意見交換ができました。

農業と農村が遠くなってしまった今を切り取り、美しい映像で課題を訴えかけるいい映画です。

## すごいぜ！ひろしま食材 ぜひ食べて

G7広島サミットの広島魅力発信の取り組みとして食材のPRとして産品推薦リストにアイガモ米とカモ肉が登録されたおかげで、広島市内の飲食店とのマッチング商談会があり参加出展してきました。約50団体の出展と150人のバイヤーやシェフ、飲食店のオーナーなどが集まり広島の食の奥深さと可能性を体感できました。



## 社員のためのリフレッシュルームをDIY

春に社員も増える(予定)で今の休憩室が手狭になるので藤本農園で一番古い木の小屋を改造してリフレッシュルーム(休憩室)を作っています。オシャレに、こだわりすぎて田ごしらえそっちのけでやってしまいそうですが大丈夫です。どちらも間に合わせます

